

「堂々川；活動テーマ「ホタルと花と砂留と」

2024(令和6)年6月20日 堂々川ホタル同好会情報紙 2024年度第2号(創刊230号)

1. 6月定例会は6月15日13名、6月16日18名が参加されました。
2. 6月9日第18回通常総会が開催されました。
3. 6月の堂々川ホタル同好会の主な出来事。

5月27日ホタルが約50匹光りはじめ、6月5日中国新聞に記事が掲載されました。同日、土肥顧問が御野小学校四年生に「御野小四年生と堂々川を守る」をテーマにホタル同好会の歴史をサブテーマに講演を行いました。今回の活動は2日に分けて実施しました。作業は、1番から6番砂留の道路沿い1メートル範囲、5番砂留下流兩岸、4番砂留上流土手斜面の草刈り河原と道路のゴミ拾い、4番砂留上流川岸彼岸花球根植え付け、大キンケイ菊の除去でした。

4. 目で見える事例



6月15日作業ミーティング



5番砂留下流ホタル飛翔場所草刈り



5番砂留下流ホタル飛翔場所草刈り



大キンケイ菊の除去



6月16日作業ミーティング



大キンケイ菊の除去



御野小での講演



御野小での講演



6月5日中国新聞の記事

5. 次の定例会

7月21日(日) 1番砂留駐車場に集合 8:00~10:00

作業内容: 会長から別途指示、そして総会が開催されます。

6. 発行責任者 堂々川ホタル同好会 会長 中山晋一

7. 会の活動を行う為保険に入ります。参加される人は7月18日までに ライン調整さんへ

堂々川の彼岸花

堂々川の中流域に彼岸花の球根を植え始めたのは 2007 年からで 2008 年には初代和田会長が一人 5 番砂留下方や鳶ヶ迫砂留下方の土手に植えられていたのは印象的でした。

最初、球根は土肥の家からとか八幡神社宮永様や道上小学校からもらったものでしたがその後助成金申請をして、セブンイレブン殿を始めとして得た 10 社以上の環境助成団体から年 10~50 万円の助成金をいただき、そのお金で球根を買い現在まで続き 2022 年度には 23 万本の開花を見て広島県トップレベルの里になりましたが猪被害が顕著になり減少していました。が昨年より会員渡辺さんご夫婦のお力で電機柵を設置してから彼岸花被害は大幅に減りました。

歴史的には 2019 年会報 178 号に掲載していますが 2010 年から御野小、翌年から中条小が遠足時に植栽してくれました。その後、みどり保育園、ひらの保育園を始め神辺の各小学校が植栽の手伝いをしてきています。この成果として花色 24 色は日本トップレベルの里、花数では広島県トップレベルになっています。広島県景観会議「第 16 回景観大賞」受賞の栄誉や助成金申請に役立っています。最近ではダイヤモンドドリーの新品種を植えると道上の人が持ち帰ったりした事例があります。彼岸花は地域によっていろいろな呼び方がありますが曼殊沙華、キツネ花、幽霊花を始めとし 500 に及ぶそうです。堂々川には彼岸花科としてタマスダレ、ナツヅイセン、キツネノカミソリ、サフランモドキ等、洋名ではリコリスと呼ばれます。



彼岸花の球根 2000 球



小学生が遠足で植栽



寒水寺参道入口付近



鳶ヶ迫入り口



5 番川原道路沿い



9 月 25 日現在花色 18 色



5 番砂留斜面ナツヅイセン



キツネノカミソリに黒アゲハ蝶



2013 年の 5 番下彼岸花

堂々川ホテル同好会のホームページアドレスは dodogawa.com です。